



峰高だより



発行：京都府立峰山高等学校広報担当 所在地：京都府京丹後市峰山町古殿1185番地
Tel:0772-62-1012 Fax:0772-62-1013 www.kyoto-be.ne.jp/mineyama-hs/

第68回卒業証書授与式

3月1日(火)に第68回卒業証書授与式を本校で挙行し、本校、分校合わせて229名が学舎を後にしました。卒業生は、吹奏楽部の伴奏で、国歌・校歌を斉唱し、卒業証書授与において、担任の呼名に明瞭な声で応えていきました。送辞では、生徒会長の角江孝一くん(2年・峰山中出身)が、「先輩たちが築き上げてきた伝統を継承しつつ、新しい峰山高校を作り、その姿をたくさんの卒業生に届けていきたい」と決意を述べました。



2年生レシテーションコンテスト

2月17日(水)2年生英語レシテーション・コンテストを行いました。各講座・クラスの予選で選ばれた7名の参加者が5つの課題文の中から選んだ作品を暗唱して発表しました。評価の観点点は発音、流暢さ、表現力の3点です。自分の言葉として暗唱をし、発表することはとても難しいことですが、どの生徒も本番に向けて一生懸命に練習をしていました。当日は素晴らしい発表になりました。



【課題文】

- ① "Three Days to See" (ヘレン・ケラー)
- ② "The Great Dictator" (チャップリン)
- ③ "I Have a Dream" (キング牧師)
- ④ "The Gift of Peace" (マザー・テレサ)
- ⑤ "Seymour Suzuki's Speech" (セバン・スズキ)

結果は次の通りです。(数字は課題文)

- 1位： 土肥 優希くん(③)(3組・弥栄中出身)
- 1位： 尾江 那月さん(②)(5組・網野中出身)
- 3位： 能勢 千夏さん(③)(4組・久美浜中出身)

※今回、土肥くんと尾江さんはそれぞれタイプの違う素晴らしいパフォーマンスをし、甲乙付け難く同率1位になりました。



国際交流会

コミュニケーション・プロジェクトの取組の一つとして2月18日(木)に1年生が国際交流会を行いました。ゲストとして京都府在住の外国人6名(インドネシア、イギリス、ベトナム、韓国、ブルガリア、フランス)に来ていただきました。前半の全体会ではゲストからそれぞれの出身国について紹介していただきました。地理的な位置や通貨単位、気候、言葉の他に自然の景色や料理の写真、舞踊の動画などを交えて話していただき、生徒は熱心に聞いていました。そして後半はクラスごとに交流を行い、生徒はクイズやゲームなどで京都や丹後について紹介しました。どこのクラスからも元気な笑い声が聞こえるなど大変盛り上がり上がっていました。また、ゲストからは舞踊を教えてもらったり、通貨を見せてもらったりして出身国のことをさらに詳しく教えてもらいました。生徒は当日に向けて時間をかけて準備を進めてきましたので、達成感に満ちあふれた顔をしていました。



生徒には諸外国の文化を知ることによって視野を広げるだけでなく、自国の良さや文化を再認識するきっかけになったことと思います。また交流会を通じてコミュニケーション能力の向上も期待しています。

<1組>



<2組>



<3組>



<4組>



<5組>



<6組>



峰高展

2月20日(土)と21日(日)の2日間、本校において峰高展を開催しました。芸術科の授業の発表と美術部、書道部、吹奏楽部の活動の発表の場として毎年開催しており、今年で18回目となりました。会場の体育館フロアには美術選択者による静物画やオリジナルのお菓子パッケージなどの作品、書道選択者による古典臨書や自作の詩などの作品、そして美術部と書道部の作品が所狭しと並びました。ステージでは音楽選択者による合唱やバイオリンなどの器楽演奏、そして吹奏楽部が演奏を披露しました。いずれも1年間かけてじっくり学習や活動を積み上げてきた成果を発揮することができ、生徒の個性あふれる表現を見ていただくことができました。また、生徒会は陸前高田市に図書館をつくるための「ゆめプロジェクト」に参加するため古本の回収を行いました。

寒い中、多くの皆様に足を運んでいただきありがとうございました。

<会場の様子>



<生徒会執行部・ゆめプロジェクト>



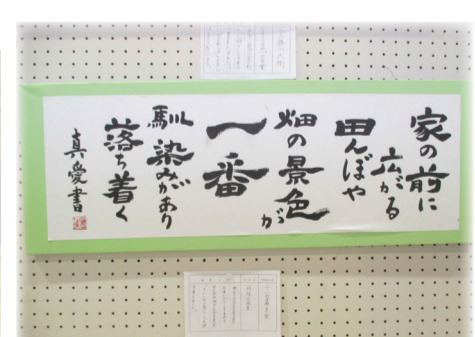
<音楽選択生徒の発表>



<美術選択生徒の作品>



<書道選択生徒の作品>



<吹奏楽部と野球部のコラボ>



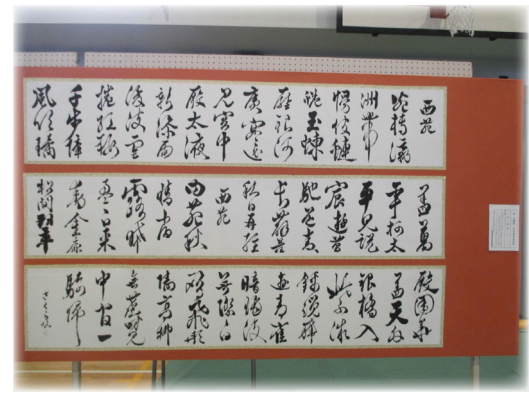
<美術部の作品>



<吹奏楽部の発表>



<書道部の作品>



活動報告

<生徒会活動>

・峰山駅清掃ボランティア

2月24日(水)に、生徒会執行部主催で峰山駅の清掃ボランティアを行いました。生徒会執行部と有志生徒32名での活動になりました。天候が悪い中でしたが、日頃から、利用している峰山駅とその周辺をきれいにすることができました。



・生徒会執行部・ゆめプロジェクト箱詰めの様子

保護者や地域の方から多くの本を提供していただき、約6000冊を回収することができました。3月4日(金)に、第一便を送りました。ご協力、ありがとうございました。



<部活動>

・バレーボール部

平成27年度両丹高等学校バレーボール新人大会
ベスト4 府大会出場

・女子バスケットボール部

平成27年度両丹高等学校バスケットボール
新人大会 第4位 府大会出場

・バドミントン部

平成27年度両丹高等学校バドミントン新人大会
シングルス

田中直弥くん(2年6組・網野中出身)
倉真太郎くん(2年4組・大宮中出身)
ベスト16 府大会出場

ダブルス

田中直弥くん、
野木晴人くん(2年5組・大宮中出身)
府大会出場

シングルス

矢野ひとみさん(2年5組・江陽中出身)
ベスト16 府大会出場

メッセージリレー

心と体のバランス

試験前に、緊張してお腹が痛くなったり、試合前にドキドキして眠ることが出来なかったり、体調が悪いから、今日は授業がなければいいのに、いっそ休んでしまおうかと弱気になったり、このような経験をしたことはありませんか。「これは心と体がつながっているから起きるんだ」と以前読んだ本に書いてありました。確かに体も心もいつも強くなってばかりだと疲れてしまいます。なので、大切な試験や試合前によくよしたり、たまには弱音を吐いて、心を労わってあげるのも私たちにとっては大切なことなのかもしれません。(もちろん、自分のいらいらを人に当たるのはよくありませんが。)でも、この不安や緊張を克服した時は、以前の自分よりも、心も体もより強く、そしてよりたくましくなっているものです。たとえ、失敗したり、上手くいかなくても、自分の心や体は、自分が思う以上に強くなっています。だから、ドキドキする体験や、くよくよしたり、緊張をする経験も、「自分にとってはとても意味のあることなんだ」と思って、どんどんチャレンジをすることが大切です。

来月になれば、新しい生活が始まります。新しい環境にドキドキ、くよくよするかもしれませんがそれは自分にとって、とても意味のあることです。自分の心と体のバランスをうまく取りながら、成長していきましょう。
英語科 久古博美

